

保護者 様

学校評価のまとめについて（お知らせ）

今年度も残りひと月となりました。ここまで安全・安心に教育活動が進められたのも、保護者の皆様の温かい御支援と御協力の賜と感じています。ありがとうございます。
さて、2学期末に保護者の皆様に御協力いただいた学校評価と、学校評議員会でいただいた御意見、本校教育の成果と課題等を報告すると共に、今後の取組についてもお知らせします。

児童アンケート

保護者アンケート

		児童		職員				
		1学期	2学期	2学期				
1	学校が楽しい	91.1%	92.7%	100.0%	授業の内容が分かる。	88.9%	課題と感じていることに、粘り強く努力する	45.7%
2	みんなで何かをするのは楽しい	95.6%	98.3%	93.0%	学習に主体的に取り組む	72.6%	「かがやき発表会」に進んで取り組む	64.1%
3	授業に主体的に取り組んでいる	87.3%	94.3%	86.0%	学校が楽しい	92.2%	あいさつを自分から元気にする。	71.2%
4	授業がよくわかる	90.1%	95.3%	92.0%	みんなで何かをするのは楽しい	96.1%	良いと思ったことを進んで行う	81.7%
5	学校に、信頼することのできる先生がいる	93.4%	94.8%	100.0%	信頼することのできる先生	90.2%	活動の様子や状況を家庭や地域に伝えている	89.9%
6	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある	78.6%	81.6%	43.0%	地域や社会を良くするために何をすべきか考える	48.4%	地域と連携した教育活動	93.8%
7	学級の友達と話し合う活動を通じ、自分の考えを深めたり、広げたりできている	87.9%	89.9%	87.0%	学級の友達と話し合う活動を通じ、自分の考えを深めたり、広げたりできている	82.4%	安全な環境づくり	89.9%
8	授業で、コンピューターなどのICTを週1回以上使用している	81.3%	79.8%	78.0%	自分から家庭学習に取り組む	69.2%	相談しやすい雰囲気	90.5%
9	自分の良さが言える	63.1%	65.5%	100.0%	自分のよいところ言える	74.5%	個性を大事にし、育てている	90.6%
10	きらりんを見つけて書いたり伝えたりできた	53.4%	48.7%	94.0%	友達のよさを見つけられる	94.1%	「かがやき発表会」の取り組みと意義の周知	73.4%
11	授業ではとことんねばり強く学ぼうとした	55.2%	87.3%	94.0%	進んで読書をしている。	39.2%	いじめのない学校づくり	85.5%
12	家での勉強は、自分で考えてとことん取り組んでいる		61.5%	80.0%				
13	1年前の自分より成長し、力がついている	96.1%	96.1%	100.0%				

☆菊川市の重点項目における河城小の成果と課題、今後の取組

- ① 学校が楽しい
みんなでなにかするのは楽しい
児童：92.7% 保護者：92.2%
児童：98.3% 保護者：96.1%
児童の肯定的な評価は昨年度や今年度の1学期と比較し、最も高くなっていました。児童の関わりを意図的に設定し、学習や行事、活動等に取り組んできた成果といえます。ただ、「学校が楽しくない」と感じている児童も17人います。それぞれの思いを把握し、教育活動のさらなる充実をめざします。
- ② 授業がよく分かる
児童：95.3% 保護者：88.9%
これまで取り組んできた学習指導要領をもとにした授業づくりを全職員で進めたり、家庭学習で自学を継続したりしてきた成果が表れたといえます。
しかし先日実施した定着度調査では、国語・算数ともに文章を読んでから答える問題の正答率が低い傾向だとわかりました。
また、「いわう」「いとなむ」などの漢字を適切に書くこと、(アナログの)時計を読むこと、時間の

計算なども課題です。「よく分かる」という実感と定着度の結果に差があります。学校でも復習に努めますが、ぜひ、ご家庭でも「〇〇ってどういうこと?」「△分後って何時何分?」のようにお子さんとやり取りをしてみてください。

「よく分からない」と、回答した12人の「困り感」については担任や校内の特別支援コーディネーター、養護教諭等、「チーム河城」で対応し、改善に努めます。

③ 学校に信頼することのできる先生がいる 児童:94.8% 保護者:90.2%

分かりやすい授業と温かな学級経営を全職員で心掛けてきました。また、学校から家庭や地域への発信 89.9%、地域と連携した教育活動 93.8%という肯定的な回答をいただきました。学校のできごとやおたより、学校ホームページ「河城小学校ニュース」等が家庭での話題になり、授業や先生、学校の様子への関心・信頼感の高まりにつながっていると考えます。

④ 自分のよいところ言える 児童:65.5% 保護者:74.5%

力がついている 児童:96.1%

本年度も、自分やみんなの「学習面」と「生活面」での頑張りを『きらりんカード』に書き、全校に紹介しています。4輝には、教員が順番に昼の放送できらりんカードを読み上げて、輝のキーワードや一人ひとりの良さを全校に広めました。

児童のきらりんカードについてのアンケートからは、良いところは見つけたが、書いたり伝えたりする活動や時間の確保が十分でなかったことがうかがえました。今後も取組の工夫と改善を続け、さらに自分自身の良さを実感させていきます。

⑤ 家での勉強は自分で考えてとことん取り組んでいる 児童:61.5% 保護者:69.2%

自学の取り組み2年目となりました。「お子さんは自分から家庭学習に取り組んでいる」については、保護者の肯定的評価が 69.2%となり、昨年度より 2.9%上昇しました。家庭学習に進んで取り組む習慣の高まりと捉えています。しかし、コメント欄には、自学の取り組み方や「かがやき発表会」が分かりにくいとの意見もありました。来年度も、自学の交流等、教育活動を通じて児童が自ら学ぶ力を高め、保護者の皆様にも自学の取り組みをお知らせしていきます。

⑥ お子さんは進んで読書をしている 保護者:39.2%

今年度も朝読書の時間を設定し、読み聞かせやファミリー読書等、本に親しむ機会を設けてきました。また、2学期からは、図書館の使用学級を決め、意図的に図書館を活用する手立てをとっています。さらに日常の読書に結びつけるためのより効果的な方法を検討していくことが必要と考えます。

☆学校評議員会での御意見・協議内容

- ・落ち着いた雰囲気です授業に取り組んでいる。先生の指示がしっかり通り、集中して学んでいる。
- ・「授業に主体的に取り組んでいる」について、保護者の肯定的評価の割合が児童より少し低い。(ノートから iPad への使用が進み、学習の様子が見えにくくなっているかもしれない。「主体的に取り組む」の具体的な姿について、おたよりや河城小ニュース等で伝えていくと返答しました。)
- ・ICT の活用も大切であるが、実際に書くことで得られることもあるのではないか。(児童の発達段階に応じて、書く、iPad で打つことをバランスよく取り入れ、力を付けていくと返答しました。)
- ・家庭学習や読書については、日々忙しい中でそれぞれの家庭の大変さがあるかもしれないが、大切にしてほしい。
- ・欠員が生じている中、先生方が元気に勤務できていてよい。環境整備や危険箇所の修繕については地域や保護者と情報共有し、先生方の負担を減らしていくことが大切である。

担当:系川
電話:35-3330